

三春町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 24 年 1 1 月時点

NO.	1	事業名	三春町避難広場整備事業	事業番号	D-20-1
交付団体	三春町	事業実施主体（直接/間接）	直接		
総交付対象事業費	89,950（千円）	全体事業費	89,950（千円）		
事業概要					
1 事業概要 福島第一原子力発電所の事故により、葛尾村民と富岡町民約 1600 名が三春町に避難しており、そのための応急仮設住宅が、町内 15 箇所に計 770 戸が整備されている。 このうち中郷地区においては、一次避難所として指定されている 2 箇所の多目的広場に応急仮設住宅が整備されている。これらの多目的広場は当面の間、応急仮設住宅用地としての使用される予定であることから、今後大規模災害が発生した場合には避難場所が不足する状況となっており、三春町民（避難している葛尾村民、富岡町民を含む）や、開花期には毎年 30 万人が訪れる「三春滝桜」の観光客の生命を守るための避難場所の設定が課題となっている。 このため、当該事業は、代替の避難場所として、同じく中郷地区にある三春町総合運動公園の隣接地に新たに用地を確保し、三春町民や観光客の避難場所となる多目的広場を整備するものである。なお、三春町総合運動公園は、災害時には広域収容避難所、自衛隊災害派遣時宿泊施設、緊急輸送時ヘリポート等となる拠点施設であり、当該拠点施設の隣接地に一体的に整備することにより、より効果的に防災基盤の強化を図ることができるものである。 ・事業箇所 町営総合運動公園隣接地[中郷地区] ・事業内容 A=17,550 m²（広場整備） 2 三春町地域防災計画における位置づけ ◇広域収容避難所：町営体育館、新三春中学校体育館（H25.4.1～） ◇緊急輸送時ヘリポート：町営野球場 ◇自衛隊災害派遣時宿泊施設及び車両保管場所：運動公園談話室、駐車場 ◇中郷地区一次避難場所：貝山多目的広場、柴原多目的広場 ※当該事業を復興ビジョン、興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 24 年度> ①整備箇所の測量、設計業務 ②用地取得 A=3,720 m² ③広場整備（造成）工事 A=17,550 m²の[一部] <平成 25 年度> ④広場整備（造成）工事 A=17,550 m²					

東日本大震災の被害との関係

東日本大震災で、本町は、震度 5 強を記録し、災害対策本部となる役場庁舎や学校などの公共施設の破損、道路の陥没などの被害を受け、震災による建物被害は、全壊が 118 棟、大規模半壊 100 棟、半壊 328 棟、一部損壊 1,519 棟にのぼり、町全体の約 3 割の世帯で被害を受けた。

なお、公共施設については、災害対策本部となる役場庁舎、一次避難所となる学校施設などが被災し、順次、応急復旧、解体撤去工事を実施している。

単位：棟

区 分	全 壊	大規模半壊	半 壊	一部損壊
住 家	3 1	2 9	1 5 1	1, 3 2 0
非住家	8 4	7 1	1 7 7	1 7 7
公共施設	3			2 2

三春町地域防災計画で、貝山多目的運動広場、柴原多目的運動広場は一次避難場所に指定していたが、福島第一原子力発電所の事故により、避難している葛尾村民と富岡町民の応急仮設住宅の用地となっている。

※区域の被害状況も記載して下さい。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	